

(1)大福駅周辺の地域交通の課題

1) 現状と特性

- 大福地域は近鉄大福駅から1 km程度の範囲に包含されているため、**深刻な公共交通不便地域**といがたい（現時点では桜井市のコミュニティバスルートに含まれていない）
- 地域は、比較的平坦な地形であり**丘陵地のような不便さは少ない**（自転車等での移動が可能）
- 地域の店舗等は駅周辺に立地しておらず、中和幹線沿道や国道165号沿道に集積しており、**現在、自家用車を前提とした日常生活により成り立っている**（自家用車が無いと不便）

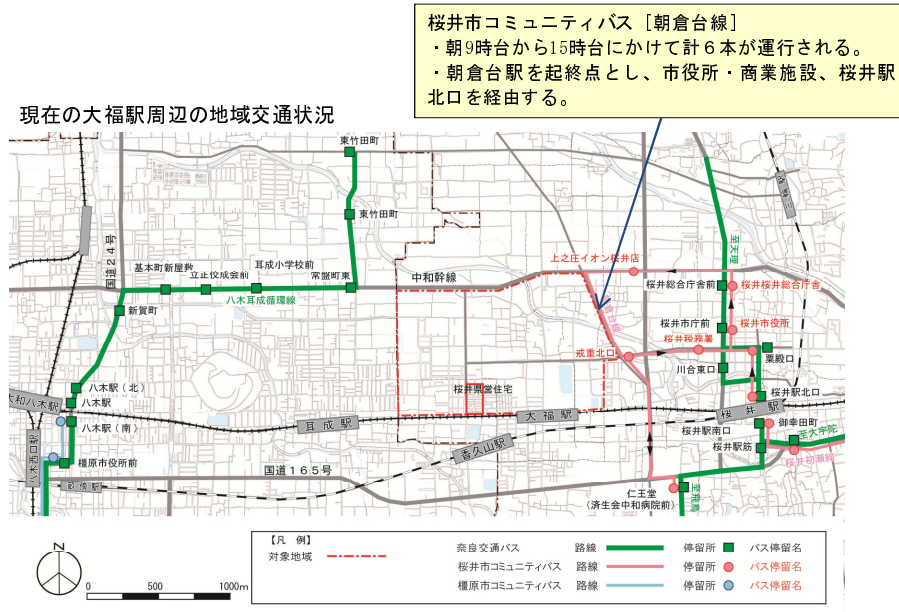
2) 検討課題

○地域交通の目的等整理 <論点>

- ・地区内から地区外への移動（地区内外の連携）に必要なとされる地域交通を検討するにあたっての「住民ニーズ」「目的」「手段」「連携方策」等の整理が必要である。
- ・大福地域は将来の高齢化により、これまでのように商業、医療、生活施設に自家用車でアクセスすることが困難となる世帯が増加すると想定される。
- ・高齢世帯の今後の動向にあわせて、生活の足となる地域交通を検討することが必要である。
- ・このほか地区内に必要とされる地域交通についても検討すべきであり「住民ニーズ」「目的」「手段」等の整理が必要である。

⇒地区の将来像※に合致した地域交通のあり方を検討することが必要ではないか

※将来像：「既存居住者の高齢化」「若年世帯の流入」「大型店舗等を利用する外部者」等



3) 今後想定される地域交通等の手段(例)

今後、自家用車で移動できない世帯等への対応として、地域交通の準備が何らか必要となる。以下に地域交通等の手段(例)を整理し、各々の長所、短所を上げる

手段(例)	運営主体	長所	短所
広域鉄道(近鉄)	民営	・大量輸送が可能	・経路が限定、拡張が不可能 ・乗合場(駅)が限定的
路線バス(奈良交通)	民営	・大量輸送が可能	・地域交通には馴染まない ・経路が限定・採算性との整合
コミュニティバス	公営	・地域ニーズの反映が可能・経路が柔軟・地域コミュニティに貢献	・地域限定的な議論が出来ない ・的確なニーズ把握が必要 ・採算性との整合(公的支援)
タクシー	民営	・ドアツードアが可能・時間、場所を選ばない	・長期的な運営スキームが必要 ・利用するには高コスト ・地域交通には馴染まない
デマンド型交通	公営	・ドアツードアが可能	・採算性との整合(公的支援)
福祉タクシー	民営	・生活支援に柔軟対応・高齢者が安心して利用	・利用者が限定(介護者) ・地域交通には馴染まない
自家用車	個人	・利用が柔軟	・身体状況により利用不可となる ・地域交通には馴染まない
カーシェアリング	個人	・地域コミュニティで活用可能・地域交通の役割が可能	・身体状況により利用不可となる
自転車	個人	・気軽に利用	・地域交通には馴染まない
電動自転車・三輪車	個人	・レンタル制度等により可能性が広がる。	・運営主体がない
電動カート	個人	・レンタル制度等により可能性が広がる。	・運営主体がない
徒歩(歩道)		・地域コミュニティが図れる	・地区内に限定

4) 導入に向けた進め方(案) <論点>

- ・地域交通は、現在桜井市が運営しているコミュニティバスをはじめ、デマンド型の小型車なども考えられるため、**地域のニーズに合った交通手段の検討**が必要である。
- ・地区内、地区外との地域交通のあり方を検討にあたり、**過去・現在・将来における地域の状況(予測)を的確に把握(検証)**することが重要となるため、桜井市と協議を進めていく。

[考えられる検討例]

- 桜井市が運営するコミュニティバスのルートを検討など

(2) 地域公共交通等の留意点(参考)

・地域交通に関する資料「地域公共交通の確保・維持・改善に向けた取組マニュアル(H24年3月 国土交通省)」において地域公共交通の導入時の留意点を整理する。

①導入経緯
<ul style="list-style-type: none"> ○路線バス廃止への補完 ○公共交通不便地域の解消 ○公共施設等（拠点）への接続強化
②交通の特性
<p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇既存の路線バス（一般バス）ではカバーしきれない住民の移動手段を確保するために運行（一般的には定時定路線（決まったダイヤ、路線で運行）である） ◇交通空白地域を埋める路線、<u>主要施設・住宅地と駅等を結ぶ路線</u>などがある ◇一度に運送する人数が概ね 10 名以上 <p>【デマンド型乗合タクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇利用者の少ない地域、時間帯において、バスより低コストで交通を確保するために導入される例が多い ◇タクシー車両（セダンまたはジャンボタクシー等）を用いる ◇<u>路線を定めず一定の区域を面的にカバーする運行（区域運行）のほか、路線が決まっており、予約に応じて運行する（路線不定期運行）がある</u> ◇一度に運送する人数が5～9人程度

